

# 民主戸田

No.1876  
2024年12月7日  
発行  
日本共産党  
戸田市委員会  
048-443-8332



市議団ホームページ  
QRコード

12月議会

## 一般質問・質問順決まる

12月議会の日本共産党戸田市議団3人を含む一般質問通告者18人の質問日・順番が決定しました(別途一覧表参照)。日本共産党戸田市議団3人の一般質問の

大要は左記の通りです。一般質問の詳細については、戸田市議会HPでご覧ください  
一般質問は、午前10時から実施され、市役所8階の

傍聴席で見ることが出来ます。また、戸田市議会HPの議会インターネット中継と録画配信でも見ることが出来ます。

## 県水道料金値上計画撤回を!

### 署名 456 筆を手渡し



県水の値上げ計画撤回を求める署名 456 筆を城下のりこ県議へ手渡しました =11月28日

#### 12月6日(金)

- ① そごう拓哉
- ② 宮内そうこ
- ③ 佐藤 太信
- ④ 林 冬彦
- ⑤ むとう葉子

#### ① 三浦 芳一

- ② 三輪なお子
- ③ 竹内 正明
- ④ 本田 哲

#### 12月10日(火)

- ① 浅生 和英

#### ② みうら伸雄

- ③ 酒井 郁郎
- ④ 矢澤 青河

#### 12月11日(水)

- ① 小金澤 優

- ② 花井 伸子

- ③ 山崎 雅俊

一般質問(日程・順番)

#### むとう葉子

- 1、ジェンダー平等社会の実現

- (1) ジェンダー平等の位置づけと取り組み、課題
- (2) 包括的性教育を
- (3) パートナーシップ制度
- (4) LGBTQ等、性的マイノリティ

#### 2、障害児福祉

- (1) 小学校に入学する際の連携。また途中から障害がある
- と分かったときの対応は
- (2) 特別支援学級の教員
- (3) 研修のサポート体制
- (4) 市独自で支援員の増員と雇用条件の改善を

#### 3、平和事業の取組

- (1) 小中学校での平和教育の取り組みは
- (2) 平和祈念式典に市民代表派遣を
- (3) 市長が平和首長会議に出席する予定は
- (4) 国に核兵器禁止条約に批准するよう求めるべき

#### 本田 哲

- 1、令和7年度の予算編成

- (1) 令和7年度の予算編成に当たっての基本的な考え方
- (2) 歳入の見込みは
- (3) 自転車の見込みは
- (4) 自転車運行マナー向上の取り組み状況

#### 3、埼京線の安全対策

- (1) ホームドア設置の要請状況は
- (2) 戸田駅・北戸田駅での無人化解消を

#### 花井伸子

- 1、市民要望の実現を

- (1) 子育て支援
- (2) 安全・安心な学校給食の無償化を
- (3) 保育料の負担軽減を
- (4) 医療的ケア児への対応
- (5) 高齢者支援
- (6) 介護保険料引き下げ
- (7) 低年金でも入所できる高齢者施設を
- (8) 在宅サービスの充実
- (9) 認知症対策
- (10) 医療・保健・福祉
- (11) 医療費
- (12) 国民健康保険税の引き下げ
- (13) まちづくり・交通対策
- (14) tocoバスの増便・ルート増設・両回り運行
- (15) (ア) 地域公共交通計画における市の積極的取り組みは
- (16) 公園整備
- (17) 歩道の整備
- (18) 災害対策
- (19) 早急な治水対策の強化
- (20) 避難所・備蓄品
- (21) 温暖化対策
- (22) 相談業務
- (23) 納税相談
- (24) 福祉総合相談の充実を
- (25) 2、福祉センターの再整備

## 25年度からの戸田市水道料金大幅値上げに反対です

戸田市では、2025年1月19日公示、26日投票で市議会議員選挙がおこなわれます。日本共産党戸田地区委員会、戸田市委員会は花井あきこ(31歳新人)、むとう葉子(現在2期)、本田哲(現在5期)の3人の予定候補を発表しました。花井伸子市議は8期をもって勇退します。

ほんだ かつ  
本田 哲  
(現職・5期)



むとう しようこ  
むとう 葉子  
(現職・2期)



はない あきこ  
花井 あきこ  
(新人)



# 障がいのある子どもの教育環境に課題

## 県立和光南特別支援学校を視察

戸田市で暮らす障がいのあるお子さんの保護者から、障がいがあっても戸市内の学校に通わせたいというお話を聞く機会がありました。特別支援学校は戸田市にはなく、他の自治体に通っていることで、いない者といった扱いを受けているような気持ちになることでした。

現在、お子さんが通っている和光南特別支援学校では、児童生徒数が多くて教室不足に悩んでいるとのこと。一度、現場を見て欲しい。



重複障がいの生徒の部屋です。どの部屋も狭くて圧迫感があります。

いとの要望を受けて、11月28日、県議会議員の城下のりこ議員と日本共産党戸田市議員団、日本共産党戸田市子育て支援相談担当の花井あきこ市議予定候補は、和光南特別支援学校を視察しました。

斉藤校長先生は、今年の4月に赴任し、特別支援学校の良さを実感しているという話がありました。知的障がいのある子は6人に1人の先生、また重度（重複）の障がいのある子3人に1人の先生という配置基準で

あり、一人ひとりの子どもに目が行き届くことが挙げられていました。

その一方で、教室不足のため、本来一つの教室には出入口が二つあるべきところを二つに区切っているため、入口と出口が一つとなり防犯上に課題があつたり、女子更衣室が調理室と同じ場所を使用していること。また女子のトイレは和式トイレに洋式の便座を取り付けただけで、きちんとした工事が必要とのこと。

戸田市から通っている保護者の方からのお声でぜひ学校を見にきてほしいとのこと。11月の末に和光特別支援学校へ戸田市議員団、県議さんと共に視察に行きました。

息子たちと変わらないう子どもたちの姿があり、先生方のサポートが本当に手厚く、子どもたちがとても生き生きと過ごしていました。ですが、教室の数が足りておらずパーティションで区切ったりと試行錯誤して活用されています。倉庫のような場所もなく、空いているスペースに積み重ねられている状況でした。また一つひとつ

とでした。

年々、特別支援学校に通う子どもが増えている現状を踏まえると学校の整備だけでなく、学校の増設が必要と感じました。

障がいがある子もいない子も地元の小中学校に通うことができるよう、今後も日本共産党県議団と市民と共に運動をしていかなければならないと思いました。  
(市議会議員・むとう葉子)

### 子どもの読書活動

### 市民パブコメ募集

4日に開催された議会文教建設常任委員会「第4

次戸田市子どもの読書活動推進計画(案)策定に当たり、実施したアンケート調査の結果報告がありました。小中学生のアンケート調査はGoogleフォームを活用したことで8890件、76・78%の調査結果を得ることができました。その結果、本を読むことが好きな子どもの割合は7ポイント減少、不読率も6%増加したとの報告がありました。教育委員会では、近年の情報通信機器の急速な発展により、子どもたちが読書から離れてしまう可能性があると、これに對処するには、子どもたちの発達段階に応じた読書環境

の整備が必要なことから計画を見直すため、パブリックコメントを実施します。

### 「第4次戸田市子どもの読書活動推進計画(案)」

- 1、意見募集期間…令和6年12月16日から令和7年1月15日まで
- 2、資料公開場所…担当課、市政情報コーナー、各福祉センター、笹目コミュニティセンター(コンパル)、戸田公園駅前行政センター2階、新曽南多世代交流館(さくらパル)、上戸田地域交流センター(あいパル)、戸田市立中央図書館、心身障害者福祉センター及び児童センター(こどもの国、プリムローズ)でご覧いただけます。また、市ホームページでも公開しています。
- 3、提出方法…資料公開場所への持参、郵便、FAX(442-8988)及び電子メール([tosyokan@city.toda.saitama.jp](mailto:tosyokan@city.toda.saitama.jp))及び担当課お問い合わせフォーム(市ホームページ)

### 市民パブリック・コメント

## 子どもたちのよりよい学び場へ

の部屋がとても狭く、扉も一つしかないことから緊急時の動線も問題視されてきました。子どもたちが学ぶ場としては、とてもいい環境とは言えず、県が早急に動くべきではないかと思えます。

戸田市にも戸田かけはし高等特別支援学校ができましたが、現在の部屋が狭く、小中学生のみの受け入れとなっています。小中学生も地元に通えるよう整備を働きかけると思いました。そうする事により、和光も戸田もより良い学びの環境ができるのではないかと思います。(日本共産党戸田市子育て支援相談担当・花井あきこ)